ひと・とち・みらい・はーもにー

土地家屋調査士

平成26年１月
第 160 号

会報 彩の国

埼玉土地家屋調査士会

表紙　写真説明

『兄と妹』

地区の運動会へ向かう道すがら
はしゃぐ妹の手を
しっかり握って歩く兄
何とも微笑ましいその後ろ姿に
成長したなぁ…と
思わずシャッターを切った
日常の中でふと感じる幸せの瞬間

（埼葛支部　小川　哲也）

埼玉土地家屋調査士会No. 160号

土地家屋調査士倫理綱領

1. 使　命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公　正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研　鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

目　　次

新年のご挨拶……埼玉土地家屋調査士会会長　佐藤　忠治…… 2
……さいたま地方法務局局長　小鹿　　愼…… 3
……埼玉土地家屋調査士政治連盟会長　森田　重之…… 4
……公益社団法人埼玉公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長　加藤　　実…… 5

我がまちの祭り

川口の夏の風物詩・たたら祭り……川口支部　亀井　郁臣…… 7
世界の「大盆栽まつり」……大宮支部　井野　大佑…… 8
桶川祇園祭……上尾支部　木檜　敏明…… 9
久喜提燈祭り「天王様」……埼葛支部　小川　哲也……10
久伊豆神社例大祭　越ヶ谷秋まつり……越谷支部　蓮見　雄一……11
Jazz day かすかべ……春日部支部　遠藤ヨシアキ…12
川越まつり……川越支部　小髙　一嘉……13
ところざわまつり……所沢支部　栁　　淳一……14
熊谷うちわ祭……熊谷支部　松本　真弓……15
日本スリーデーマーチ……東松山支部　花輪　直人……16

五重塔模型完成初お披露目……熊谷支部　原口　完治……17
広報部　第５回（平成25年度）写真コンクール……18
土地家屋調査士広報グッズの紹介……20
第36回日本スリーデーマーチ……東松山支部　花輪　直人……22
会議だより……23
会員の動静……39
編集後記……広報部長　山口　光男……43

新年をお迎えして

埼玉土地家屋調査士会
会長　佐藤　忠治

皆さまに新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、平成26年の新年を健やかにお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。日頃から会務運営に際しましては、役員の皆様はじめ、会員の皆様のご支援、ご協力を賜り新年を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年５月に会長就任以来、多忙な会務を行って参りましたが、この正月はお盆休み以来、久しぶりに会務から開放された日々を送ることができました。

さて、私は会長就任以来、本会の信頼の回復に努めて参りました。その手はじめとして、役員等を対象として「コンプライアンスに関わる研修」を行いました。日常の行動が社会からどのように評価され、また、危急時にどのような判断を求められるか等についての研修内容でした。巷間、食品の「偽装？」がマスコミをにぎわしておりますが、もって「他山の石」とすべきものと思っております。認識の甘さが問題を引き起こし、その対応の甘さが更に問題を大きくすると言うことは本会の問題と相通じるものがあります。

東日本大震災から３年近く経過しますが、被災地の皆さんの復興は遅々として進まない様に見受けられます。特に福島の原発事故により避難生活を余儀なくされている皆様には、これからの生活を考えると、どのような将来設計をされているのか心配です。元の住居に戻って生活できるのか、それとも新たな土地において生活しなければならないのか、田畑、山林の生態系、生き物の生態系等がどう変化するのか、悩めばきりがありません。首都圏においても、様々な災害が起こりうる可能性がかなり高いと言われている昨今です。

日調連では大規模災害対策として、日調連の連合会館が機能しなくなった場合におけるバックアップ先として埼玉会会館を第１順位としてあげています。日調連会館よりも埼玉会会館が安全と考えているようです。本会としても危急時の対策として、危急時対応マニュアルの作成に取りかかっております。危急時において本会の機能が停止しないようにするためのものであり、平時の備え、危急時の備えをマニュアル化することが目的です。

景気は、消費税の引き上げ予定による駆け込み需要と思われる状況です。これが継続的なものかどうか不明で、消費税引き上げ後の停滞が心配されます。われわれ土地家屋調査士を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、その中でも大変憂うべきことは報酬額の低廉化であります。低廉な報酬は周囲にも及ぼし、最後は土地家屋調査士業務が経ち行かなくなってしまうのではないかと危惧しております。仄聞するに、低廉な価格での受託の処理のために、日が暮れてから電灯を灯してまで外業を行っている調査士がいるとのことです。これは根も葉もないただの噂であると信じたいところです。各自が報酬額の算定の基礎を充分に理解し、業務の受託にむかうことを期待しております。悪貨が良貨を駆逐することの無いように今後とも努力してまいります。

ところで、今年は埼玉会が７月に行われる関東ブロック協議会総会の担当会となっております。一昨年の関ブロゴルフ大会以来の担当です。また地籍問題研究会の発表会場として草加市の独協大学が候補にあがっております。関東ブロックの中で、埼玉会が汚名を返上するチャンスの年と考えることはできないでしょうか。

皆様の益々ご隆盛とご繁栄を祈念し、合わせて本会へなお一層のご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のご挨拶

さいたま地方法務局
局長　小鹿　　愼

新年明けましておめでとうございます。埼玉土地家屋調査士会会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、平素から登記事務を始めとする法務行政の適正かつ円滑な運営につき特段の御理解と御協力をいただいており、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年は、９月にアルゼンチンのブエノスアイレスで行われたIOC総会において、トルコのイスタンブールやスペインのマドリッドを抑えて、2020年開催予定の夏季五輪の開催地を東京に決定するという明るいニュースがありました。招致活動においては「復興五輪」を掲げ、東京での開催をたぐり寄せたところですが、他方で、東日本大震災の被災地では、東京への関心や開発が集中する分、被災地への関心が薄れ、復興が遅れるのではないかとの懸念もでているとのことです。

私は、平成24年度に、盛岡地方法務局に勤務しておりましたが、被災地である岩手県においては、国、岩手県、各地方自治体及び被災地の住民が一日も早い復興を目指して、各種復興事業に取り組んでおります。

被災地の法務局では、東日本大震災からの復旧・復興のための取組として、倒壊・流出した建物の職権滅失登記及び地図修正等の作業を実施しています。これらの事業に当たっては、被災地域の法務局のみならず、全国の法務局が一丸となって取り組んでおります。土地家屋調査士の皆様には、倒壊・流出した建物についての職権による滅失登記のための調査や、地図の修正作業の実施に当たり、その専門的知見や能力を発揮していただき、御協力・御尽力をいただいているところです。改めまして、御礼を申し上げます。これらの事業は、被災地の復旧・復興にとって必要不可欠なものであり、専門的知識経験を有する会員の皆様方の御協力がなければ行うことができません。今後とも会員の皆様と法務局とが、より一層力を合わせることにより、一日でも早い被災地の復興に寄与することができることを望んでやみません。

さて、さいたま地方法務局におきましては、昨年10月６日に埼玉県内の６箇所において「全国一斉！法務局休日相談所」を開設しました。この無料相談会では、さいたま地方法務局職員のほか、公証人、司法書士及び土地家屋調査士の皆様にも相談員として御協力いただきました。おかげさまで、当日は、相談に来られた多くの皆様から好評を得ることができました。これもひとえに、埼玉土地家屋調査士会及び会員の皆様の御支援と御協力のたまものであり、この場をお借りして感謝を申し上げます。本年も同様の相談会を予定しておりますので、埼玉土地家屋調査士会及び会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

また、平成18年１月に運用を開始しました筆界特定制度につきましては、今年で９年目を迎えます。申請件数が高水準で推移しており、同制度に対する国民の期待と信頼の大きさがうかがえます。埼玉土地家屋調査士会から、筆界調査委員として御推薦をいただいた皆様の専門的な知識、経験、技術等をお借りして、本年もこの制度を適正かつ円滑に運用してまいりたいと思っておりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

さらに、登記所備付地図の整備につきましては、不動産の表示登記制度の基礎となるべきものであり、法務局が取り組むべき重要な課題であり、引き続き、積極的に推進いたします。

終わりに、埼玉土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を衷心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

埼玉土地家屋調査士政治連盟
会長　森田　重之

はじめに、昨年３月12日の政治連盟の総会において、会長職に選任され、就任して早一年を迎えようとしております。

本年の午年に新年の慶びの挨拶を『彩の国』の会報に、掲載させて戴き光栄です。埼玉土地家屋調査士会の会員と、その内47.82％（25年11月末現在）が入会をしている政治連盟会員の益々業務の発展を願い、健康で一年を過ごせる事をお祈り申し上げます。

埼玉土地家屋調査士会の政治連盟の活動は、土地家屋調査士制度の意義を政治家に、少しでも理解をして戴き、表示登記制度を各官庁、市町村に協力を要請する活動を役員一同努めてまいります。連合会では、自民党の土地家屋調査士制度改革推進議員連盟・高村正彦会長、公明党の土地家屋調査士制度の改革・振興議員懇話会・漆原良夫会長、民主党の土地家屋調査士制度推進議員連盟・小川敏夫会長と連携しております。埼玉会の政治連盟としても、公明党県議団に、そして民主党の国会議員とも毎年、地図の重要性を訴え、説明し、その為に協議し理解をしてもらっています。また、予算請求時期にそれぞれの議員との交流会を通し説明することを、昨年も９月に行っております。

昨年の10月24日東京土地家屋調査士会館において、関東ブロックの会長会議が開催され、一都十県の代表が協議を行いました。本年度の関ブロの政治連盟の活動としては、改正原戸籍の附票の保存期間を５年から80年に伸長する住民基本台帳法施行令の改正の要望をすることで一致しました。この件に関しては、改正前の戸籍は「改正原戸籍」となり、それに付随している「戸籍の附票」は、その後「５年間」しか保存されないことになっています。（住民基本台帳法施行令34条第１項）したがって、その後は原則として公開されないだけでなく、削除されます。一般国民はいったん登記した後は、住所が移動してもその都度、住所変更の登記をすることはほとんどありません。

戸籍の附票は、単なる住所の記録にとどまらず、本人であることの同一性を証明する重要な公的証明資料として、登記のみならず多方面において用いられるものであります。保存期間が満了した自治体の住民全員の戸籍の附票が廃棄するということが、非常に大きな問題であります。そのことに関して、単位会が各市町村の自治体に、５年間で廃棄するのか、この保存期間は最低を定めたものであり、実情に応じて長期間保存している自治体もあるそうです。

埼玉土地家屋調査士会の政治連盟会員は、各支部の県議・市議の議員さんとの勉強会を勧め、支部会員皆さんと一緒に対話とお願いを、周期的に行えることを目標に土地家屋調査士会員が職務に遂行できる様、裏方の役目として頑張ってまいります。

新年のごあいさつ

公益社団法人埼玉公共嘱託登記土地家屋調査士協会
理事長　加藤　　実

新年明けましておめでとうございます。

西暦2020年の東京オリンピック開催が決定し、アベノミクス効果か、経済も上向きの中、皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私ども埼玉公共嘱託登記土地家屋調査士協会（以下「公嘱協会」という）は、昨年の７月１日をもちまして、民法上の社団法人から、公益法人認定法に規定されております「公益社団法人」へと移行いたしました。

当協会は、昭和61年の設立から、官公署等が行う公共事業に係る用地取得等に当たり、所有権を始めとする国民の皆様の財産権の安定に欠かすことが出来ない不動産登記の嘱託のお手伝いをしてまいりました。その中には諸般の事情により難渋し積み残しされてきた登記事件もございましたが、専門的ノウハウを駆使し適正かつ迅速な処理を行い、各官公署のご理解を賜ってきたところ、平成20年12月１日公益法人改革三法が施行になり、その結果、平成25年11月末日までに、公益社団法人に移行するか、一般社団法人の認可を受けるか、もしくは期間満了後解散するかの選択を迫られたわけです。

そこで、私どもは新たな公益社団法人を目指し、認定を受けるための準備を着々と進めてまいりましたところ、晴れて埼玉県より平成25年６月19日付公益社団法人の認定書が交付され、平成25年７月１日付け移行の登記申請も完了し、平成25年８月14日公示されました。これも一重に関係各位の皆様のご支援の賜物と、感謝申し上げます。

さて、東北地方は、東日本大震災からの復興も徐々に端緒に付き、災害に強い国土の再構築を目指し、インフラ整備が開始されつつあります。強靱な国土を目指すのは何も被災した東北地方に限られたわけではありません。南海、東南海トラフに予想される大地震により東海地方以西も被災に備えての災害対策も進みつつあります。そのような中でも東京オリンピック開催の朗報は、沈んでいた日本にも明るさを取り戻してくれることでしょう。東京ではそのオリンピック開催に合わせて外国からのお客様を「おもてなし」できるような設備投資も進んでくると想像しております。

このように公共事業が増加することは当然予測されるところであり、これらの公共事業の推進に伴い派生する嘱託登記事件は、迅速で確実な処理が要請されるでしょう。

わが協会は、公益認定にあたり、準則主義の届け出で設立できる「一般社団法人」に比して、より厳しい内部規律、明朗な会計処理、明確な情報公開のシステムは必須のものと考えております。これを求めましたのは、国民の皆様の財産権を扱うという高い使命感からのもので、今後も公益法人としての矜持を堅持し一層研鑽に励み、難渋事件は勿論、通常事件を含めて嘱託登記の完全処理を執行すべく責任態勢を整備してまいる所存であります。

もう一つの私たち土地家屋調査士の使命であります登記所備え付けの「地図作成」についても、事業を尚一層促進するため、各方面よりの強力なご助力をいただき感謝申し上げます。震災のような地殻変動が起きても役立つような、高精度でかつ現地復元性がある地図を、早期に日本全国に対し完備すること目指してまいりたいと思います。また、今後の利活用を考えると、GIS構想を念頭に見据え、街づくり・防災・地域経済の活性化等への利用に耐えうるものであり、高性能で使い勝手がよく、容易に復元可能なものを目標としてまいります。

私たち公嘱協会は、このように、公共嘱託登記に係る受託事業はもとより、『筆界と地図の専門

家集団』として研鑽を重ね、協会の総力をあげての不動産登記法第14条第１項地図等の地図整備促進事業・登記事務に関する情報提供事業・登記基準点設置事業・嘱託登記に関する知識普及啓発事業等の『国民の権利の明確化に寄与する公益事業』に関して、これまで以上に積極的に取り組み拡充していく所存であります。

このような事業を展開することで、国民の利益に寄与し、明るい未来を築くため、持続可能で活力ある国土・地域づくりに少しでもお役に立ち続ける法人を目指します。国民から愛され、信頼される法人となれるよう公益法人全体で更なる研鑽を積み、鋭意努力をし続けます。そのため、現在公嘱協会にご参加の社員の皆様はもとより、埼玉土地家屋調査士会員の皆様及び関係機関のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、東日本の復興は未だ厳しい状態にあります。私たち公嘱協会が一助として一日でも早い復興ができますことと、今年一年皆様がご健康でご活躍されますことをお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

我がまちの祭り

川口の夏の風物詩・たたら祭り

川口支部　亀井　郁臣

「我がまちの祭り」ということでテーマをいただきました。私の住む川口市でも数多くのお祭りが開催され、どれを紹介しようかとても迷いました。

その中でも、毎年夏盛大に開催され、昨年は25万人を超える人出でにぎわいました「たたら祭り」を紹介しようと思います。

取材をはじめてまず疑問に感じたことは「たたら」って何だろうということでした。

この「たたら」…もともとは製鉄の時に風を送る「ふいご」を意味し、由来を広く遡って考えれば、古代朝鮮語の解釈で「もっと加熱する、強く加熱する」・ダッタン語（モンゴル・トルコ系）の「猛火」とも取られるそうです。

やはりネーミングも鋳物の街・川口らしく熱や火を象徴する言葉だったようです。

次に開催の経緯ですが、それまで川口市には商業祭りや地域の神社仏閣の行事、盆踊りというものはありましたが、全市こぞってのお祭りというものがなかったそうです。

そこで、川口市民全員が参加でき、心のふれあいが図れるお祭りを企画したいということで、それまでの「キューポラ祭り」「商業まつり」「青少年祭り」などを統合した、みこし・太鼓・民踊などの様々な要素をもった祭りを開催すべく昭和54年に「第１回たたら祭り」が開催された模様です。

では、今年で36回目を迎える「たたら祭り」の開催時期・場所・概要等について紹介していきたいと思います。

まず開催時期ですが、通常８月の第１土曜日とその翌日の日曜日に開催されます。（詳しくはホームページ等を確認してみてください。）

開催場所は二箇所あり、一箇所目は土曜日のみ開催される『宵祭り・市役所前通り会場』。こちらの会場では初午太鼓、流し踊り、サンバパレードが盛大に行われております。

二箇所目は両日開催される『本祭り・オートレース会場』です。こちらではメインステージでの様々なライブやショーが行われます。また子どもから大人まで楽しめる展示会やフリーマーケット、その他数々のイベントコーナーが設けられております。

そして、この会場で最後の締めを飾るのが花火大会です。

夏の夜空に色とりどりの花火が打ち上げられ、毎年この花火を楽しみに訪れる方も大変多いということです。

（メイン会場であるオートレース会場へは川口駅・西川口駅・東川口駅などから往復無料バスも運行されており、遠方の方でも非常にアクセスしやすい環境が整っております。）

今回広報委員として地元川口の「たたら祭り」を取材し紹介させていただきました。

正直自分が想像していた以上にとても活気があり魅力的なお祭りだと感じ、心底驚きました。

ぜひ、会員の皆様はじめ、ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、活気あふれる川口の夏の風物詩「たたら祭り」にご来場いただき、楽しい夏のひとときを過ごしていただければと思います。

（写真提供先 川口市役所）

世界の「大盆栽まつり」

大宮支部　井野　大佑

埼玉土地家屋調査士会の皆様、はじめまして。大宮支部の井野と申します。些細な事から広報委員になり、早半年になります。広報部の仕事とは多肢に渡ります。研修会等は勿論のこと、イベントがあれば担当委員は取材に伺います。広報の腕章をしている人がいたら優しくしてあげて下さい。広報委員はネタを欲しがっていますので。

今回の記事は「我がまちの祭り」と題したもので地元の奇祭!?を紹介させて頂きます。

それは、私の事務所から徒歩１分の場所にある、大宮盆栽美術館周辺（大宮盆栽村）にて毎年行われている、「大盆栽まつり」です。

大宮盆栽美術館は平成22年に開園したもので、世界で初めての公立の盆栽美術館であり、その地元（さいたま市北区盆栽町　通称大宮盆栽村）の祭りである「大盆栽まつり」は、今年で30回目を行いました。

また今年は５月３日から５日までの３日間で、14万人の来場者があったとの事です。

名品の展示をはじめ、市民盆栽展、盆栽盆器の即売会もあり、盆栽にまつわる「川柳大会」もあります。

最寄り駅は、東武野田線・「大宮公園駅」徒歩１分。または、JR宇都宮線「土呂駅」10分です。

（大宮盆栽美術館　正面）

（写真提供先　さいたま市北区役所）

桶川祇園祭

上尾支部　木檜　敏明

今回「我がまちの祭り」ということで、私は桶川市在住ですので桶川祇園祭について紹介します。

桶川宿の人々は元文２（1737）年に、上中町の中山道の通りの中央に、建速須佐之男命一族を祭神とする市神社を「天王社」として祀りました。今から275年前の元文３（1738）年には、家内安全を願って市神社の前に集まり、百八灯の灯籠を灯し、宿場内の疫病の退散を祈願しました。

元文２年の市神社の創建から間もなく、水害厄難に襲われることが度重なり、11年後の寛永２年にはこれらの被害を克服した宿の人々によって桶川宿の祇園祭が復興されました。

このときの祇園祭は華麗なものでこの祭りで初めて各町内の御輿が勢揃いして、盛大な祭礼が行われた記録が残されています。また、各町内で競って屋台を提灯等で飾り付けた花台を登場させるなど、桶川祇園祭は華麗なものになっていきました。

このように桶川の祇園祭は、桶川宿の中山道の中央に設置した「天王社」をお参りして家内安全と宿場内の疫病流行の退散を祈願して開催されたもので以後、宿場内の人々は、毎年７月14日、15日を桶川祇園祭と定め、それぞれの町内が競って工夫を凝らした鉾山車・御輿・人形を制作して、華麗な祭りを守り育ててきました。

天保９（1838）年６月には、市神社は改築されて再建されました。もともと八百万の神々を信仰していた日本人はそこに少々別系統の神様達が加わっても、霊験さえあれば簡単に受け入れてきたといわれています。

明治維新政府の神仏判然令の発布から８年後の明治９年稲荷神社境内に市神社＝天王社が八雲神社と合祀して移築されました。

大正５年に日出谷村の祭礼との関係で１日遅らせて15日・16日の開催となった以外、開催日の変更はありません。

ここ数年は天候に恵まれていますが、それ以前は毎年のように夕立があり夏の訪れを告げてくれるようなお祭りです。

また、全国の主要な祭が女人禁制の伝統を守っているのに対し、この祭りは女性の参加に寛容でありそのため女性が違和感なく祭りに参加しています。

（写真提供者　金井塚俊幸氏）

久喜提燈祭り「天王様」

埼葛支部　小川　哲也

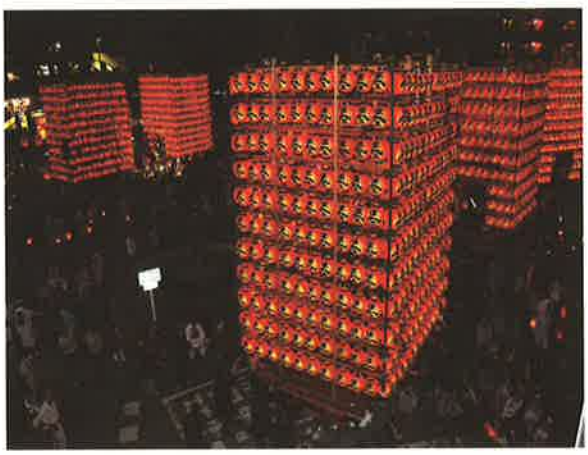
久喜提燈祭り「天王様」は、旧久喜町の鎮守である八雲神社の祭礼です。

天明３年（1783年）の浅間山大噴火で、桑をはじめ夏作物が全滅したことによる、生活苦、社会不安などを取り除くため、祭礼用の山車を曳き廻して豊作を祈願したのが始まりと伝えられ、230年の歴史と伝統を誇る祭りです。

祭りは毎年曜日に関係なく７月12日と18日に行われます。７町内から７台の山車が繰り出され、昼間は神話などから題材をとった人物の人形を山車の上に飾り立て、町内を曳き廻します。

夜は人形を取り外し、山車の四面に約500個の提燈を飾りつけた提燈山車に早変わりします。この提燈山車は夏の夜を彩るイベントとして最大の見どころとなっています。町内の若い衆が、賑やかな笛や鉦・太鼓のお囃子にのせ、関東一といわれる山車を回転させたりして、市内を巡行する様は、まさに圧巻です。

午後８時頃には、久喜駅西口ロータリーに７台の山車が集合して、山車を近づけあったり、回転させたりします。久喜駅西口周辺は多くの見物客で賑わい、祭りにおける一番の見所となっています。



（写真提供先　久喜市観光協会）

久伊豆神社例大祭　越ヶ谷秋まつり

越谷支部　蓮見　雄一

<名称>

久伊豆神社例大祭は旧越ヶ谷町の山車祭りで、元禄時代から続いていると云われ、旧来から「祭神様のおまつり」として親しまれてきました。往時は大変に賑わい、たいそう華やかであったそうです。特に、太平洋戦争敗戦の暗い世相を吹き飛ばすべく、終戦直後第一回目の例大祭は、当時としては考えられないほど莫大な費用（総費用100万円）をかけて盛大に開催されたことから、新聞紙上に『100万円のばか祭り』と取り上げられ、これ以降「越ヶ谷のばか祭り」という別称がついたということです。

<概要>

久伊豆神社は社格こそ「郷社」ですが、武蔵野国越ヶ谷郷総鎮守として鎮座1,200余年の歴史ある神社であり、徳川将軍家が鷹狩りで越ヶ谷御殿にお成りの際に参詣をされていたとのことで、かつては、徳川秀忠公所用の三つ葉葵の定紋入りの御膳を所蔵していたと云われています(戦災で焼失)。

また、徳川将軍家が信奉していたことから、当時としては通常使用を許されない立ち葵紋が、神社の定紋になっています。

神社の正式な年中行事・神事としての例祭は、毎年９月28日を期日と定め、神職により社殿において厳かに執り行われていますが、実は、一般に言われている山車祭りとしての久伊豆神社の例大祭は、神社の正式な年中行事ではなく、氏子主催・主導による氏子の行事、つまり氏子が主役なのです。氏子は、神社の正式な年中行事・神事ごとの例祭を「陰祭り」と呼び、氏子主催・主導の山車祭りを「本祭り」と呼びます。

神社の正式行事ではないとはいえ、神社と不可分でなければ「本祭り」は成立し得ません。

山車の引き回し行事は、鳳輦（ほうれん）によって旧越ヶ谷の街中へお渡り（渡御）いただいた御祭神の御霊を、年番町内に設けられた御仮舎（おかりや）にお迎えし、氏子一同総出でお慰めするために行うものとなっています。

<開催時期>

開催年は概ね３年に１度を目標としています。開催時期については従来のしきたりを固持しています。山車の引き回し行事は９月28日の例祭の後でなければなりません。昔は曜日に関係なく９月28日・29日（+30日）でしたが、現在は10月第２月曜日が休日となったことから、10月第２上・日曜日の開催に固定されつつあります。

<見所>

旧来から変わらない古代絵巻さながらの「渡御・還御」の鳳輦（＝神輿）行列が一番の見所でしょう。久伊豆神社の「鳳輦」は、一般にいわれる「おみこし」とは趣を異にします。かなり古い時代の様式の神輿で、担ぎ棒が二本棒の神輿です。久伊豆神社の御祭神は、因幡の白兎の逸話にもありますように、大変慈悲深く争いを好まない大国主命ですので、鳳輦は揉むことなく厳かに慎み、粛々と進むものとされています。しかし最近では、見物客へのサービスもあり、鳳輦への奉納の浄財（＝賽銭）が上がった時には、多少揉むのも慣例になってきました。

もう一つの見所は、山車の引き回しでの旋回です。越ヶ谷の山車は、車輪が３輪で取り回しが難しく、運行には職方（鳶）が重要な役割を果たしているのが特徴です。旋回をする時は４～６人の職方が１輪の前輪を持ち上げながら気合を入れて勢いよく一気に回します。

山車の引き回しは２日間で６回ですが、内２回「渡御・還御」の時だけは神様に従って、氏子総出で８台連なっての引き回しになります。他の４回は「らんびき」と言われ、本町側と新石側に別れて、各４台を連ねての引き回しになります。

その中で大沢橋際・旧駅前通交差点（越ヶ谷２丁目）・越ヶ谷・瓦曽根境界交差点（越ヶ谷１丁目）での山車旋回の取り回しは大変迫力があり、見所と言えるでしょう。

（写真提供先　越谷市役所）

Jazz day かすかべ

春日部支部　遠藤ヨシアキ

我が心の故郷春日部では、『ジャズでまちなかに賑わいをつくろう』をテーマに掲げ、春日部駅西口中央町第四公園を活用し、周辺の商店街が連携し、地域に賑わいを創出するとともに、商店の販売促進効果とジャズ文化（音楽文化）の浸透を図る事を目的に2006年11月より年に三回「Jazz day かすかべ」が開催されています。春には新緑の緑にブルージーな旋律が溶け合い、夏にはハワイアンとともに陽気な笑い声が響きます。秋にはコジャレたスタンダードが聞けるかもしれません。

メイン会場の第四公園には周辺商店の協力によりたくさんの出店が立ち並び、楽器が奏でる音色のように色彩豊かな味も楽しめます。その他、ララガーデン春日部（風が吹き抜けるショッピングモール）、ふれあいキューブ多目的ホール（春日部市市民活動センター）、西武百貨店春日部店（言わずと知れたデパート）の３か所を応援ステージとし、時間に応じそれぞれの音楽を奏でます。

Jazz っていうと敷居の高さや、変に歴史を感じちゃったりして敬遠される方もいらっしゃるかと思いますが、同じ音符が並んでいる事はプレスリーも淡谷のりこも同じです。ビートに身体をゆすり、ハーモニーにウットリしに春日部においでください。音楽はお祭りそのものです。

近隣の中学校、高校のブラスバンドもその技を競い合います。ダイヤモンドのように磨き上げられた音がぶつかりあう様は美しさを感じます。名の通った美術館に展示された絵画を見るようなブラスバンドのスイングジャズにビールも進むことでしょう。

Jazz day かすかべでは出演バンドを募集しているみたいですので、学生時代にカッコ付けちゃってたみなさん、押し入れのなかで埃をかぶってるギターやトランペット、ドラムセットやウッドベース、はたまたカスタネットやトライアングルまで・・・どうです？もう一度春日部でカッコつけませんか？

（2013年度Jazz dayのポスター）

川越まつり

川越支部　小髙　一嘉

川越は、江戸時代には江戸の北の守りとして、また物資の供給地としても重要な土地であった。そして、新河岸川の舟運による物流も盛んになり商人の町としても繁栄した。明治26年に町の３分の１を焼失する大火に見舞われ、その後耐火性のある土蔵造りの店舗が造られた。そして現在、「蔵造り」や「時の鐘」など歴史的町並みが残る小江戸川越に、毎年多くの観光客が訪れるようになった。

そんな川越で、毎年10月の第３土曜、日曜に行われるのが「川越まつり」である。

川越まつりは、川越氷川神社の10月14日に行われる創建以来続く「例大祭」を根源とし、続いて行われる「神幸祭」を、慶安年間に川越藩主であった松平伊豆守信綱が、氷川神社へ神輿や獅子頭などを寄進し、祭礼を奨励したことにより発展していったのが川越まつりの始まりである。以来360年の時を超えて、江戸の天下祭の様式を今に伝えるまつりが川越で受け継がれている。そして、平成17年には「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定された。

まつりが近づき、町内に紅白の幕を張り巡らせる「軒端揃え」が始まると、まつりの雰囲気が高まってくる。前日には鳶や大工を中心に「切組」と呼ばれる山車の組み立てが行われ、町内では「会所」が開かれ、いよいよまつりの当日を迎えるのである。

川越まつりのみどころのひとつは、絢爛豪華な「山車」である。山車は町内ごとに29台あり、制作時期などによって特色があるが、江戸型の山車を踏襲していると言われている。車輪の数によって三ツ車と四ツ車があり、台座の上に二重の鉾を組み、上になる鉾とその上につけられる「御神像」と呼ばれる人形が、せりあがる仕組みになっている。鉾の前には欄間か唐破風のついた囃子台があり、多くの山車は、台座の上で回転する回り舞台となっている。そして、彫刻や漆塗り、金箔などで装飾され、鉾には刺繍などが施された鮮やかな幕が張られる。山車のなかには明治の大火を逃れたものもあり、県の有形民俗文化財に指定されているものも多くある。

そして、囃子台には笛１人、大太鼓１人、小太鼓２人、鉦１人の五人囃子に舞い手が乗る。山車ごとの囃子にはいくつかの流派があるが、王蔵流、芝金杉流、堤崎流が三大流派とされている。囃子はもともと近郊農村地域の囃子連が担っていたが、今では山車所有町内にも囃子連があるところもあり、互いに協力して継承されている。

その山車が拍子木の合図とともに、曳き手によって小江戸の町を曳かれて行くのである。その列には先触れを先頭に、露払い、手古舞、綱先、宰領、鳶頭などが並ぶ。その曳行する人々の伝統的な装束もみどころのひとつである。

そして、最大のみどころは「曳っかわせ」と呼ばれ、曳行される山車と山車が辻で出合うと、囃子台を回転させて向かい合い、囃子を競い合うのである。山車の周りには提灯が掲げられ歓声があがり祭は最高潮に達するのである。

ところざわまつり

所沢支部　柳　　淳一

気迫と熱気が燃え上がる「ところざわまつり」は毎年30万人以上の人手で賑わう、ふるさと所沢のお祭りです。

「ところざわまつり」は、山車が中心のお祭り。

明治初期から山車の曳きまわしが行われ同後期には９月15日に催される神明社・秋の祭礼に各町内から山車が集まるようになったと伝えられています。

その起源については、明確ではありませんが、所沢にのこる山車の購入や制作年代から類推すると、明治初期からと考えられます。

山車祭りに欠くことのできない祭囃子については、所沢には幕末から明治初期にかけていわゆる重松流を広めた古谷重松（ふるやじゅうまつ）が、所沢に住んでおりその成立とかかわっているとも伝えられています。

歴史ある山車とその上で繰り広げられる重松流囃子。これは、いにしえの所沢を偲ばせるお祭といえるのではないでしょうか。

現在では、毎年10月第２日曜日に所沢駅西口より、金山町通りまでの間で開催され、華やかなパレードから始まり威勢のいいお神輿、情熱のサンバカーニバル、そして街の熱気を盛りあげる重松流の祭囃子の音色。

日暮れからは、提灯で飾られた山車と山車を向かい合わせておかめ、ひょっとこ、藤助、天孤などが舞い踊る「曳っかわせ」など市民の皆さんと地元商店街の多彩な催しで、活気溢れるお祭りとなっています。

（写真提供先　所沢商工会議所）

熊谷うちわ祭

熊谷支部　松本　真弓

うちわ祭りは、当地に鎮座いたします八坂神社のご祭礼です。

熊谷の夏祭りの記録が文書にでたのは、江戸時代の寛延３年（1750）で、これによりますと、もとは各寺社ごとに別々に行っていたとあり、同年４月に町民から宿場役人に願い出て許され、以来各町内いっせいに行うようになりました。この時代から、熊谷の夏祭りの形態がつくられたといえます。天保時代（1890～）祭りの中興といわれ、この祭りの日、各戸で赤飯を炊いて疫病除けをしました。商店では祭りの期間中、買物客に赤飯をふるまった事から、熊谷の「赤飯ふるまい」は祭りの名物になりました。

うちわ祭の起こりは、この手数のかかる赤飯のかわりに、料亭「泉州」の主人が江戸から買い入れた渋うちわを客にふるまったところ評判になり、のち各商店でも赤飯の代わりにうちわを出したため、誰いうとなく「買物は熊谷うちわ祭の日」といわれるようになりました。事実、三銭の買物にも五銭のうちわをふるまったことから、その評判は大変なものでした。

こうした疫病退散祈願に始まったこの祭りもいつしか五穀豊穣、商売繁盛を祈願することになりました。

「関東一の祇園」うちわ祭は、７月20日、７月21日、７月22日の３日間開催されます。

この３日間は熊谷の街が熱気と興奮に包まれ、70万人超のお客様がお出でになります。

（写真提供先　熊谷市役所）

日本スリーデーマーチ

東松山支部　花輪　直人

日本スリーデーマーチとは、毎年11月、比企丘陵を舞台に繰り広げられる「ウォーキング」の祭典です。

毎年、８万人を超える人たちが、日本各地及び、世界各地から集まります。いまや歩けのメッカ、オランダのフォーデーズマーチに次ぎ、世界で２番目の規模を誇る大会へと成長してきました。

そして、大会を支えるすべての人がボランティアで参加し、運営されていることも自慢です。

昭和53年に始まったこの大会は、各コース（50キロメートル・30キロメートル・20キロメートル・10キロメートル・５キロメートル）を自分の体力にあわせて自由に選び、３日間歩きます。

スタート時間は、それぞれのコースにより決まっています。途中にチェックポイントがあり、チェックを受けて午後５時までにゴールをすれば完歩になります。

自分の好きなペースで、全国、世界のウォーカーと秋の比企丘陵を歩く、これが日本スリーデーマーチです。

大会の歩み

第１回　1978（昭和53）年
群馬県新町（しんまち）を拠点に第１回全日本スリーデーマーチ（当時の名称）開催。

第３回　1980（昭和55）年
第３回大会より東松山市を拠点に開催。

第６回　1983（昭和58）年
市内全小・中学校の参加が始まる。

第10回　1987（昭和62）年
国際マーチングリーグ結成、スリーデーマーチが公式大会となる。

第16回　1993（平成５）年
国際市民スポーツ連盟（IVV）の認定大会になる。

第19回　1996（平成８）年
車いすの障害者らにサポーターが付き添って歩く「ゆっくりウォーク」始まる。

第20回　1997（平成９）年
20回記念大会。第１回世界ウォーキングフェスティバル記念碑を建立。岐阜県根尾村より天然記念物「淡墨櫻」の苗木が送られ、きんさんぎんさん、根尾村長、東松山市長が庁舎前広場に植樹。

第27回　2004（平成16）年
東松山市市制施行50周年及び日本ウォーキング協会設立40周年記念として、また、環境省の主唱する「環境（わ）のくらし・地球温暖化防止キャンペーン大会」として開催。

第30回　2007（平成19）年
30回記念大会。四国・松山市との交流事業始まる。延べ参加人数111052人と大会史上最多参加者数を更新。

第34回　2011（平成23）年
東日本大震災復興応援ウォークとして開催。中学生ボランティアが大会運営に参加・協力。

埼玉県のほぼ中央にあたる東松山市周辺の比企丘陵には、武蔵野の貴重な自然が多く残っています。東に望むと、広大でのどかな田園風景、西に望むと秩父の山々やすそ野に広がる小高い丘。各コースには文化財も多く、遠く昔を思い、落ち着いた雰囲気を味わいながら歩くことができます。

豊かな自然の中で、世界各国・全国各地から参加している人たち、そして市民の交流が活発に行われています。一年ぶりに再会を喜び合う人たち、新しく生まれる友情、親と子の語らいもあります。

ぜひ日本スリーデーマーチに参加して「風の色」をみつけてください。

（調査士の旗を持って歩く会員）

五重塔模型完成初お披露目

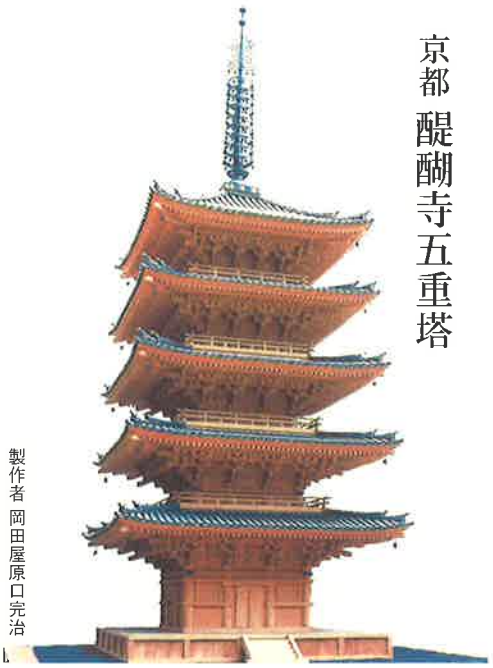
熊谷支部　原口　完治

製作期間16年を要した醍醐寺五重塔15分の１の模型が漸々完成して、平成25年11月熊谷ドームで開催された「全国育樹祭」「熊谷市産業祭」にて展示する機会を得た。

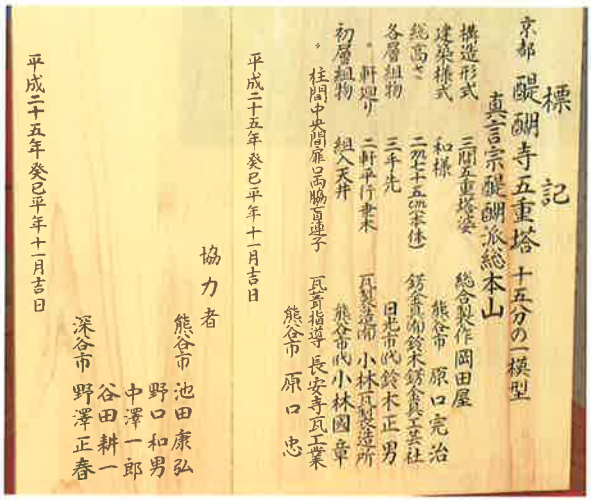
思い起こせば16年前、五重塔を作ってみたい！と思ったことが出発点だった。技術的なことについては大工の経験から対応できると思っていたが、詳細については一から資料収集が必要であった。文献を参考に原寸大の図面を作成できたことが五重塔模型作成への第一歩となった。

京都醍醐寺を忠実に15分の１の模型としたのは自分の手で忠実に作り上げることができる最小の大きさであったことによるものである。材料は木工事を総桧で完成させ、屋根瓦は地元の瓦工業に15分の１で作成依頼、瓦葺は地元の神社仏閣専門の葺屋に、相輪・風鐸等の金具については日光東照宮の錺金具を請負っている日光の錺金具工芸社へ15分の１で作成依頼をして、全てが15分の１で完成に至った。

製作中に大病を患いながらも各職の協力を得、又、周りの方々の励ましで無事完成させることができて関わってくれた全ての人達に感謝の念でいっぱいである。



撮影 神尾明氏　（15分の1模型）



（製作者と五重塔）

広報部
第５回（平成25年度）写真コンクール

平成25年11月22日(金)浦和コルソ７階において、埼玉会会員が出展した「第５回（平成25年度）写真展」が開催されました。

今年も多くの会員から27点もの作品が出展されました。どれも感動させられる作品が多くシャッターチャンスの捉え方がうまいのには驚くばかりです。ご協力いただいた会員の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

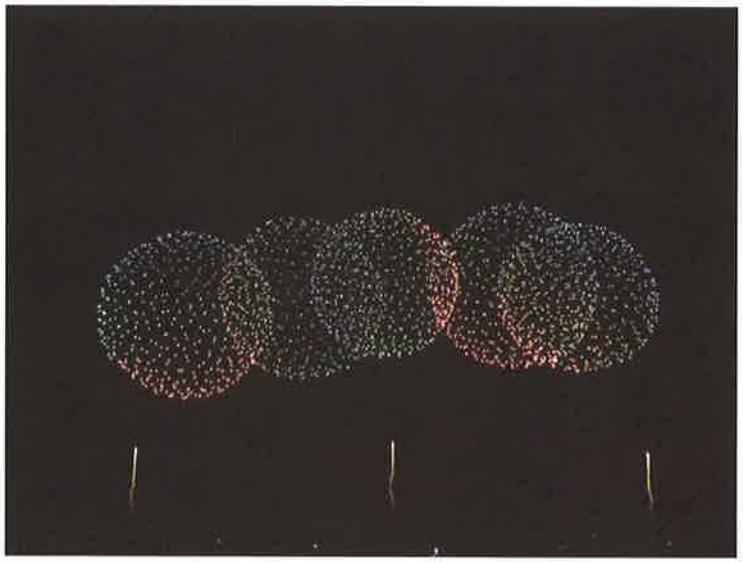
今回も、公開講座参加者の方々に投票をしてもらいました。第１位から３位までの結果は以下のとおりです。また、第１位の作品は、本会報の表紙を飾っておりますので、もう一度ご鑑賞下さい。

第１位　『兄と妹』

地区の運動会へ向かう道すがら
はしゃぐ妹の手を
しっかり握って歩く兄
何とも微笑ましいその後ろ姿に
成長したなぁ…と
思わずシャッターを切った
日常の中でふと感じる幸せの瞬間

埼葛支部　小川　哲也

第２位　『花火大会』



平成25年10月12日（土）「第12回こうのす花火大会」が、鴻巣市と吉見町の境を流れる荒川、川幅日本一の会場で、50万人以上の見物客が見守る中盛大に開催されました。打上総数15,000発、正３尺玉、最後に尺玉300連発と世界一の大玉４尺玉が打ち上げられました。写真は尺玉同時打ちの瞬間です。

上尾支部　山口　光男

第３位　『草ぶき』

平成25年８月３日　福島県へ家族旅行で行った際、宿泊したペンションのオーナーに「大内宿」のねぎそば（長ネギを箸代わりにそばを食べる）を薦められ、帰りがけに立ち寄りました。

1640年ごろに整備された宿場町であり、国選定重要伝統的建造物郡保存地区に指定されており、本当にこの場所だけ大昔にタイムスリップしたような風景がそこにあり、大変驚かされました。このような伝統的な屋根ぶきの技術習得を、未来の子供たちにも引き継いでもらいたいと思いました。

東松山支部　花輪　直人

土地家屋調査士広報グッズの紹介

土地家屋調査士制度が制定されて63年になります。ところが土地家屋調査士の職種について、なかなか国民に理解されていないのが現状です。そこで、埼玉会においては、平成24年度に現場用のカラーコーンを作成し会員に販売したところ、大変好評で完売になりました。また、平成25年度は、外部広報として土地家屋調査士のイメージアップのため及び非調査士の排除を目的に腕章を作成し全会員に配布しました。境界立会や建物調査測量等に利用していることと存じます。

さて、今回の会報で新潟県土地家屋調査士会と鹿児島県土地家屋調査士会が、独自に取組んでいる広報グッズを紹介いたします。既に、埼玉会の一部の支部は、この広報グッズを支部として取り入れ仕事や支部活動に利用しています。

私たちの職種をもっともっと国民に理解していただくのは、貴方自身の行動にあります。どうか今回掲載の広報グッズを参考に、土地家屋調査士の名称を広めましょう。

なお、紹介の広報グッズの申込み希望の方は直接、新潟県土地家屋調査士会・鹿児島県土地家屋調査士会に申込み願います。

新潟県会

メール：nii-cho@nk.rim.or.jp
住　所：〒951-8068　新潟市中央区上大川前通六番町1211-5
三好マンション鏡橋３階
ＴＥＬ：(025) 378−5005
ＦＡＸ：(025) 225−5678

ネックストラップ

頒布価格　１本 1,200 円 (送料別)

＜申込み方法＞
メールまたはFAXまたは郵便にてお願いします。安全のため宅配便にて送ります。
FAX　025－225－5678

ネックストラップ申し込み書

申込み　　本
住　所
会員名
TEL
FAX

鹿児島県会

メール：kachosa@orange.ocn.ne.jp　　ＴＥＬ：(099) 257－2833
住　所：〒890-0064　鹿児島市鴨池新町1-3　　ＦＡＸ：(099) 256－4337
司調センタービル１Ｆ

1

3

7

注文票

鹿児島県土地家屋調査士会 宛

申込日	年　月　日
所属会名	
お届け先	〒 TEL　　FAX

商品名	商品番号	色	サイズ	場所	数量	計
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
					枚	円
小計					合 枚	¢ 円

帽子用 商品名	商品番号	色（ロゴ刺繍）	マーク（ロゴ/徽章）	サイズ（フリーのみ記入）	当所	数量	計
		ベージュ・黒	ロゴ・徽章			個	円
		ベージュ・黒	ロゴ・徽章			個	円
		ベージュ・黒	ロゴ・徽章			個	円
		ベージュ・黒	ロゴ・徽章			個	円
		ベージュ・黒	ロゴ・徽章			個	円
小計						合 個	¢ 円

※送料は地域によって異なります。合計3000円以上は無料。

合計　　¢ 円

“第36回日本スリーデーマーチ”

東松山支部　花輪　直人

11月３日(日)に東松山市において恒例の第36回日本スリーデーマーチが盛大に開催されました。

この大会は毎年11月、比企丘陵を舞台に繰り広げられる「ウォーキング」の祭典であり、毎年８万人を超える人たちが、日本各地また、世界各地から集まります。

そして今回も埼玉土地家屋調査士会からは、総勢114名という大勢の会員やそのご家族の方々が、全長10㎞のコースを大規模な団体として参加いたしました。

朝９時にさいたま地方法務局東松山支局を出発する際には、土地家屋調査士である森田光一東松山市長から激励のご挨拶をいただき、素晴らしい天候の中、森林公園を目指しスタートいたしました。比企丘陵には、武蔵野の貴重な自然が多く残っており、マイナスイオンを全身に浴びながら、気持ちの良いウォーキングをすることができました。

森林公園での昼食時には、これも毎年恒例となっておりますが、東松山名物の「焼き鳥」が振る舞われ、ウォーキングよりも「焼き鳥」を楽しみに参加している方も多いようで、束の間のランチタイムは大いに盛り上がりました。高橋東松山支部長をはじめとする東松山支部の会員の“おもてなし”には、毎年の事ながら大変感謝いたします。

昼食後からゴールまでの道のりは、満腹感と疲労感で足取りは重い中ではありましたが、土地家屋調査士会のノボリを持ち、土地家屋調査士のPR活動に参加者全員で貢献してまいりました。

会議だより

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
平成25年４月８日(月) 午後２時 第３回選挙管理委員会 本会会議室	出席者：金子委員長、松本副委員長、中田委員、小島委員 議　題 (1)　立候補者の確認について (2)　選挙公報の作成について (3)　その他
平成25年４月11日(木) 午前10時 第１回常任理事会 本会会議室	出席者：宮田会長、佐藤副会長、森田副会長、清水副会長、 小島総務部長、永田財務部長、髙柳業務部長、 山口研修部長、鳥海広報部長 議　題 (1)　総会議案書について (2)　一般社団法人設立について (3)　埼玉会長表彰に係る支部からの推薦者について (4)　各表彰受賞代表者及び謝辞について (5)　単位会総会への出席者について (6)　第１回理事会及び第１回支部長会議への提案議題について (7)　頒布用紙の一部廃棄処分について (8)　その他 ①　次回常任理事会開催日程の件 ②　職員報告の件 ③　メール相談担当者の件
平成25年４月17日(水) 午後２時 第１回理事会 本会会議室	出席者：(会長、副会長)　宮田会長、佐藤副会長、森田副会長、清水副会長 (常任理事)　小島総務部長、永田財務部長、髙柳業務部長、 山口研修部長、鳥海広報部長 (理　　事)　木村（川口）、古賀（志木）、青木（埼葛）、 栗原（越谷）、廣居（春日部）、鈴木（草加）、 酒井（川越）、塚本（所沢）、栗原（狭山）、 吉野（東松山） (監　　事)　井上 議　題 (1)　総会運営について (2)　総会議案書について (3)　一般社団法人届出について (4)　その他
平成25年４月19日(金) 午後２時 第１回支部長会議 本会会議室	出席者：(会長、副会長)　宮田会長、佐藤副会長、森田副会長、清水副会長 (常任理事)　小島総務部長、永田財務部長、髙柳業務部長、 山口研修部長、鳥海広報部長 (支　部　長)　山谷（浦和）、鈴木（川口）、尾﨑（志木）、 新岡（大宮）、寺山（上尾）、大久保（埼葛）、 島村（越谷）、倉持（岩槻）、木村（春日部）、 荻原（草加）、小澤（川越）、原（所沢）、 小島（狭山）、天野（飯能）、関口（坂戸）、 永沼（熊谷）、紫藤（東松山）、坂本（秩父） 議　題 (1)　総会運営について (2)　総会議案書について

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	(3)　一般社団法人届出について (4)　その他
平成25年４月26日(金) 午後２時 第４回選挙管理委員会 本会会議室	出席者：金子委員長、松本副委員長、中田委員、小島委員 議　題 (1)　選管事務（ブロック推薦候補者等のまとめ）について (2)　選挙当日の運営について (3)　その他
平成25年５月10日(金) 午後２時 第２回常任理事会 本会会議室	出席者：宮田会長、佐藤副会長、森田副会長、清水副会長、 小島総務部長、永田財務部長、髙柳業務部長、 山口研修部長、鳥海広報部長 議　題 (1)　総会質疑通告書への対応について (2)　電子政府推進員の推薦について (3)　第２回理事会への提案議題について (4)　クールビズの実施について (5)　その他
平成25年５月15日(水) 午前10時15分 第２回理事会 ラフォーレ清水園	出席者：（会長、副会長）宮田会長、佐藤副会長、森田副会長、清水副会長 （常任理事）小島総務部長、永田財務部長、髙柳業務部長、 山口研修部長、鳥海広報部長 （理　　事）木村（川口）、古賀（志木）、青木（埼葛）、 栗原（越谷）、廣居（春日部）、鈴木（草加）、 酒井（川越）、塚本（所沢）、栗原（狭山）、 吉野（東松山） （総会議長団）飯田、坂本（代表監事）岡田 （綱紀委員長）原（選挙管理委員長）金子 （紛議調停委員長）藤野 （境界問題相談センター埼玉運営委員長）大谷 （会館改修委員会委員長）古屋 議　題 (1)　総会議事次第について (2)　日調連総会への出席者について (3)　その他
平成25年５月21日(火) 午後２時 第１回境界問題相談センター 埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：大谷委員長、清水副委員長、紫藤委員、長坂委員 議　題 (1)　第１回研修会運営について (2)　その他
平成25年６月３日(月) 午後３時 正・副会長会議 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長 議　題 (1)　副会長の会長職務代理順位及び所属分掌について (2)　理事会の開催について

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	（理事の所属分掌） (3)　各種会議日程について (4)　日調連総会・関ブロ総会について (5)　本年度事業計画の具体策について (6)　土地家屋調査士事務所形態及び報酬に関する実態調査について (7)　境界問題相談センター埼玉運営委員の任命について (8)　紛議調停委員会委員の委嘱について (9)　CPD委員会委員の委嘱について (10)　その他 ①　各種委員会委員候補者の選考の件
平成25年６月５日(水) 午後２時 第３回理事会 本会会議室	出席者：（会長、副会長）佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長 （理　　事）武内（浦和）、佐野（川口）、古賀（志木）、 髙橋（志木）、髙柳（大宮）、山口（上尾）、 青木（埼葛）、木村（越谷）、倉持（岩槻）、 鈴木（草加）、鹿倉（川越）、井上（飯能）、 秋元（坂戸）、倉林（熊谷）、髙橋（秩父） （指名理事）廣居（春日部） （監　　事）野澤 議　題 (1)　会長職務代理の順位及び副会長の各部の担当について (2)　理事の職務分掌について (3)　常任理事の選任について (4)　顧問・相談役・参与の委嘱について (5)　注意勧告理事の選任について (6)　事故処理委員の選任について (7)　紛議調停委員の選任について (8)　境界問題相談センター埼玉運営委員の選任について (9)　連合会総会への代議員出席者について (10)　関ブロ総会への出席者について (11)　各種会議日程について (12)　その他
平成25年６月７日(金) 午後２時 第３回常任理事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　各部議事録文書の作成について (2)　災害時危機管理対策マニュアル作製について (3)「制度対応検討委員会」の創設について (4)　失われた信頼回復について（対外的広報）

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	(5)　役員等を対象としたコンプライアンスの重要性を認識させる研修会等について (6)　越谷支部規則の一部改正（案）について (7)　ブロック別懇談会開催日程及び運営について (8)　ボウリング中央大会運営について (9)　平成24年度会費未納者への聴聞会開催について (10)　名誉会長・顧問・相談役・参与会議の運営について (11)　会報掲載広告料金について (12)　メール相談回答者選出について (13)　会員名簿へのメールアドレス掲載確認通知について (14)　法務通信への原稿執筆者選出について (15)　第69回定時総会会場設営について (16)　埼玉友好士業協議会定例総会への参加者について (17)　注意勧告理事会の開催日程について (18)　第２回支部長会議への提案議題について (19)　その他 ①　夏期休館の件 ②　法務局等への挨拶日程の件 ③　平成26年度関ブロ総会会場設営の件 ④　連合会総会への対応の件 ⑤　職員の昇給・賞与の支給の件
平成25年６月10日(月) 午後２時 第２回支部長会議 本会会議室	出席者：（会長、副会長）佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長 （常任理事）武内総務部長、廣居財務部長、 古賀業務部長、青木研修部長、山口広報部長 （支部長）山谷（浦和）、鈴木（川口）、森田（志木）、 山﨑（大宮）、栁沼（上尾）、阿部（埼葛）、 田中（越谷）、杉本（岩槻）、松﨑（春日部）、 大久保（草加）、川口（川越）、坂本（所沢）、 肥沼（狭山）、天野（飯能）、島田（坂戸）、 梁瀬（熊谷）、髙橋（東松山）、鬼頭（秩父） 議　題 (1)　正・副議長の互選について (2)　本会へ提出する報告書等について (3)　休館日訃報連絡網について (4)　ブロック別懇談会の協力方依頼について (5)　ボウリング中央大会開催について (6)　第69回定時総会会場の設営について (7)　全国一斉不動産表示登記無料相談会開催について (8)　その他
平成25年６月14日(金) 午前11時 注意勧告理事会 本会会議室	出席者：武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　綱紀委員会からの調査報告について
平成25年６月14日(金) 午後２時	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、廣居部長、秋元次長、倉林理事 議　題

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
第１回財務部会 本会会議室	(1)　業務引継について (2)　平成25年度事業計画の具体策について (3)　ボウリング中央大会運営について (4)　その他
平成25年６月14日㈮ 午後２時 第１回業務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、鈴木次長、倉持理事 議　題 (1)　業務引継について (2)　平成25年度事業計画の具体策について (3)　その他
平成25年６月14日㈮ 午後２時 第１回研修部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、髙柳次長、髙橋理事 議　題 (1)　業務引継について (2)　平成25年度事業計画の具体策について (3)　その他
平成25年６月14日㈮ 午後２時 第１回広報部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事 議　題 (1)　業務引継について (2)　平成25年度事業計画の具体策について (3)　その他
平成25年６月14日㈮ 午後２時 第１回総務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、武内部長、佐野次長、 髙橋理事、井上理事 議　題 (1)　業務引継について (2)　平成25年度事業計画の具体策について (3)　その他 ①　次回総務部会開催日程について
平成25年６月21日㈮ 午後６時 第２回境界問題相談センター 埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、白鳥委員、町田委員、野崎委員、 田中調停委員、武内委員、江口委員、長坂委員、 紫藤委員、大谷前運営委員長 議　題 (1)　任命書の交付について (2)　正・副委員長の互選について (3)　第１回研修会運営について (4)　相談員・調停員の募集について (5)　その他
平成25年６月24日㈪ 午後３時 紛議調停委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、武内総務部長、 関永委員、齋藤委員、飛田委員、清水委員、 上田委員、飯田委員 議　題 (1)　正・副委員長の互選について (2)　その他
平成25年６月24日㈪ 午後３時 綱紀委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、武内総務部長、 江口委員、岡田委員、武井委員、鷲林委員、笠原委員 議　題 (1)　綱紀委員長及び副綱紀委員長の互選について (2)　その他

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
平成25年６月26日(水) 午後３時 監事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、廣居財務部長、 野澤監事、伊藤監事、木林監事、新井監事、 田口員外監事 議　題 (1)　代表監事の互選について (2)　理事会への業務監査出席者について (3)　その他
平成25年７月１日(月) 午後２時 第１回広報委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 亀井（川口）、井野（大宮）、木檜（上尾）、 小川（埼葛）、蓮見（越谷）、遠藤（春日部）、 小髙（川越）、柳（所沢）、松本（熊谷）、 花輪（東松山） 議　題 (1)　平成25年度事業計画の具体策について (2)　各広報委員の役割分担について (3)　その他
平成25年７月３日(水) 午後１時 第４回常任理事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　平成25年度土地家屋調査士法施行規則第39条の２調査について (2)　使用済み職務上請求書用紙のチェック中止について (3)　会員心得の公募について (4)　「土地家屋調査士調査・測量実施要領改訂版(案)」への意見回報について (5)　ブロック別懇談会運営について (6)　伊藤政良会員黄綬褒章受章祝賀会開催について (7)　「登記情報」誌の定期購読に関連する件 (8)　歴代会長写真の掲額について (9)　本会と公嘱協会との連絡協議会への提案議題について (10)　名誉会長・顧問・相談役・参与会議の運営について (11)　その他 ①　次回常任理事会開催日程の件
平成25年７月３日(水) 午後４時 名誉会長･顧問･相談役･ 参与会議 本会会議室	出席者：宮田名誉会長、中村顧問 荻原相談役、関根相談役、古屋相談役、森田相談役、 清水相談役、間邉参与、小島参与、永田参与、鳥海参与、 佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長、佐野総務部次長、 秋元財務部次長、（代）倉持業務部理事、 髙柳研修部次長、木村広報部次長 議　題 (1)　会務運営についての意見交換 (2)　その他
平成25年７月11日(木) 午後２時	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、武内総務部長、 山谷委員、鈴木委員、大久保委員、坂本（宣）委員、

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
第１回災害家屋調査委員会 本会会議室	坂本（義）委員 議　題 (1)　正・副委員長の互選について (2)　平成25年度事業について (3)　その他
平成25年７月11日㈭ 午後２時 ホームページ打合せ会 本会会議室	出席者：山口部長、木村次長、遠藤委員 議　題 (1)　ホームページについて (2)　その他
平成25年７月12日㈮ 午後２時 第３回境界問題相談センター 埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：紫藤委員長、長坂副委員長、武内委員、江口委員 議　題 (1)　第２回研修会運営について (2)　相談員・調停員任命式について (3)　その他
平成25年７月17日㈬ 午後３時 伊藤政良氏黄綬褒章受章を祝う会 第１回発起人会 本会会議室	出席者：佐藤会長、春日部支部伊藤政良会員、 高柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長、 森田政治連盟会長、松崎春日部支部長 議　題 (1)　祝賀会運営について (2)　その他
平成25年７月18日㈭ 午後２時 第２回業務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、鈴木次長、倉持理事 議　題 (1)　資料センター室について (2)　オンライン登記申請促進委員会について (3)　その他
平成25年７月18日㈭ 午後２時 第２回研修部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、高柳次長、高橋理事 議　題 (1)　業務研修会開催について (2)　その他
平成25年７月23日㈫ 午後２時 第１回業務研究委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、 伊藤委員（浦和）、原田委員（大宮）、 酒巻委員（越谷）、吉澤委員（草加）、 伊東委員（所沢）、野口委員（東松山） 議　題 (1)　業務研究委員の趣旨説明 (2)　各自の研究テーマについて (3)　今後の予定 (4)　その他
平成25年７月24日㈬ 午後２時 第１回CPD研修運営委員会	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、 福島委員（浦和）、樋口委員（川口）、 吉原委員（志木）、新岡委員（大宮）

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
本会会議室	議　題 (1)　CPD研修運営正・副委員長の互選について (2)　CPD研修について (3)　その他
平成25年７月30日(火) 午後２時 第１回資料センター室会同 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、 熊谷室員、増田室員、古川室員、小峰室員 議　題 (1)　資料センター室の運営について (2)　資料センター室設置規程の見直しについて (3)　その他
平成25年７月30日(火) 午後２時 第１回オンライン登記 申請促進委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、 山本委員、大金委員、大沼委員、髙橋委員 議　題 (1)　オンライン登記申請の運営について (2)　その他
平成25年８月１日(木) 午後２時 第２回総務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、武内部長、佐野次長、 髙橋理事、井上理事 議　題 (1)　隣接法律専門職としての資質向上について (2)　会員からの標語の募集について (3)　職務上請求書用紙の使用上の注意について (4)　総務省主催による相談会について (5)　ブロック別懇談会運営について (6)　その他 ①　次回総務部会開催日程について
平成25年８月６日(火) 午後１時 第５回常任理事会 パーシモンホテル	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　南部ブロック懇談会運営について (2)　秩父支部規則の一部改正（案）について (3)　事務局産休補助パート職員補充について (4)　総務省主催行政相談所への対応について (5)　メーリングリストについて (6)　書籍「伊能図大全」の購入について (7)　基準点測量実習研修の運営について (8)　公開講座の実施について (9)　会員業務研修会運営について (10)　役員向け研修会の実施について (11)　NHKからの問い合わせへの対応について (12)　職員の身分の得喪に関する規則の制定について (13)　その他
平成25年８月７日(水)	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長、

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
午後６時 臨時常任理事会 本会会議室	武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　NHKからの取材協力への対応について (2)　その他
平成25年８月８日(木) 午後２時 会報「彩の国」159号 第１回編集会議 本会会議室	出席者：原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 亀井委員、井野委員、木檜委員、小髙委員、栁委員 議　題 (1)　会報「彩の国」159号について ①　掲載記事内容の決定 ②　記事の割りふり ③　執筆依頼と収集・取材 ④　役割分担 ⑤　発行までの工程と時期 (2)　公開講座　写真展について ①　募集期間 ②　テーマ (3)　その他
平成25年８月21日(水) 午後２時 第１回苦情処理委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、武内総務部長、 古屋委員、森田委員、清水委員、間邉委員、 小島委員、鳥海委員、永田委員 議　題 (1)　正・副委員長の互選について (2)　申立案件について (3)　その他
平成25年８月26日(月) 午後２時 伊藤政良氏黄綬褒章受章を 祝う会第２回発起人会 本会会議室	出席者：佐藤会長、春日部支部伊藤政良会員、 髙栁副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長、 森田政治連盟会長、松崎春日部支部長 議　題 (1)　祝賀会運営について (2)　その他
平成25年８月30日(金) 午後２時 第２回財務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、廣居部長、秋元次長、倉林理事 議　題 (1)　ボウリング中央大会の反省について (2)　図面用紙の検討について (3)　スリーデーマーチ運営について (4)　その他
平成25年９月５日(木) 午後２時 会報「彩の国」159号	出席者：原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 亀井委員、井野委員、木檜委員、小髙委員、栁委員 議　題

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
第２回編集会議 本会会議室	(1)　会報「彩の国」159号について (2)　その他
平成25年９月６日㈮ 午後２時 正・副会長会議 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長 議　題 (1)　現在の会務運営の問題点について (2)　賀詞交歓会開催の可否、予算について (3)　職員の身分の得喪について (4)　その他
平成25年９月10日㈫ 午後２時 第３回総務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、武内部長、佐野次長、 髙橋理事、井上理事 議　題 (1)　竜巻による被害状況報告について (2)　隣接法律専門職としての資質向上について (3)　情報漏洩プロテクターの検討について (4)　岩槻支部の解体（大宮支部、埼葛支部への分割）について (5)　賀詞交歓会開催について (6)　規則39条の２調査関係について (7)　平成25年度大規模災害対策基金の募集について (8)　歴代会長写真の掲額について (9)　その他 ①　次回総務部会開催日程について ②　臨時パート職員面接結果の件
平成25年９月12日㈭ 午後１時 第６回常任理事会 マロウドイン熊谷	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　北部ブロック、西部ブロック懇談会対応について (2)　竜巻による被害状況報告について (3)　平成25年度大規模災害対策基金の募集について (4)　平成26年賀詞交歓会開催について (5)　岩槻支部の解体について (6)　第36回日本スリーデーマーチへの参加について (7)　表示登記実務協議会事前協議報告について (8)　基準点研修運営について (9)　公開講座運営について (10)　業務委員の設置について (11)　メーリングリスト組み合わせ（案）について (12)　非調査士排除と土地家屋調査士のイメージアップについて (13)　職員の身分の得喪について (14)　雇用問題に関わる第三者委員会立上げの可否について

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	⑮　四県連絡協議会への提出議題について ⑯　第４回理事会への提出議題について ⑰　その他 ①　伊藤政良氏黄綬褒章祝賀会への目録金額の件 ②　第３回支部長会議・中間監査会開催日程の件 ③　臨時パート職員面接結果の件 ④　関ブロ各担当者会同開催日程の件 ⑤　次回常任理事会開催日程の件
平成25年９月13日㈮ 午後６時 第４回境界問題相談センター埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：紫藤委員長、長坂副委員長、武内委員、江口委員、 白鳥副委員長、町田委員、野崎委員 議　題 (1)　平成25年度運営について (2)　その他
平成25年９月17日㈫ 午後２時 第４回理事会 本会会議室	出席者：（会長、副会長）佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長 （常任理事）武内総務部長、廣居財務部長、 古賀業務部長、青木研修部長、山口広報部長 （理　　事）佐野（川口）、髙橋（志木）、髙柳（大宮）、 木村（越谷）、倉持（岩槻）、鈴木（草加）、 鹿倉（川越）、井上（飯能）、秋元（坂戸）、 倉林（熊谷）、髙橋（秩父） （監　　事）伊藤 議　題 (1)　竜巻による被害報告について (2)　平成25年度大規模災害対策基金の募集について (3)　歴代会長の写真の掲額について (4)　岩槻支部の解散について (5)　平成26年新年賀詞交歓会開催について (6)　公開講座開催について (7)　表示登記実務協議会事前協議結果報告について (8)　基準点研修会運営について (9)　第36回日本スリーデーマーチへの参加について ⑩　メーリングリスト組合せ（案）について ⑪　非調査士排除と土地家屋調査士のイメージアップについて ⑫　雇用問題に関わる第三者委員会の立ち上げの可否について ⑬　その他
平成25年９月19日㈭ 午後２時 第２回災害家屋調査委員会 本会会議室	出席者：坂本委員長、山谷副委員長、鈴木委員、大久保委員、坂本委員 議　題 (1)　災害時の埼玉土地家屋調査士会初動対応マニュアル検討について (2)　その他
平成25年９月26日㈭ 午後２時 会報「彩の国」159号	出席者：原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 亀井委員、井野委員、木檜委員、小高委員、柳委員 議　題

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
第３回編集会議 本会会議室	(1)　会報「彩の国」159号について (2)　会報「彩の国」160号について (3)　イメージアップ事業 腕章のデザインについて (4)　公開講座 写真展について (5)　スリーデーマーチについて (6)　その他
平成25年10月３日(木) 午後２時 第３回研修部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、高柳次長、高橋理事 議　題 (1)　10/11開催予定第１回会員業務研修会について (2)　業務部主催の基準点測量の設営協力について (3)　平成26年２/３開催予定の第２回会員業務研修会について (4)　平成26年３月開催予定の新入会員研修会について (5)　会員向け研修会の今後の計画及び長期展望について (6)　公開講座の設営協力について (7)　その他
平成25年10月３日(木) 午後２時 第３回業務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、鈴木次長、倉持理事 議　題 (1)　基準点測量実習研修について (2)　公開講座の運営について (3)　その他
平成25年10月７日(月) 午後２時 第７回常任理事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　雇用問題に関する第三者委員会の人選について (2)　職員就業規則の一部改正（案）について (3)　消費税増税に対応するため報酬額の外税方式への検討について (4)　埼玉友好士業協議会主催「よろず相談会」への相談者について (5)　四県連絡協議会提出議題への対応について (6)　図面用紙（穴なし）の会員頒布価格について (7)　旧図面用紙の在庫取扱いについて (8)　市町村独自の基準点について (9)　登記所備え付け街区基準点について (10)　表示登記実務協議会への質問・要望事項について (11)　CPD研修会開催について (12)　腕章デザインについて (13)　西部ブロックでのソフトボールチーム編成について (14)　第３回支部長会議への提案議題について (15)　その他 ①　次回常任理事会開催日程の件
平成25年10月22日(火) 午後２時 第５回境界問題相談センター 埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：紫藤委員長、長坂副委員長、武内委員、江口委員 議　題 (1)　第５回関ブロADR11について (2)　その他

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
平成25年10月24日㈭ 午後２時 第４回総務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、武内部長、佐野次長、 髙橋理事、井上理事 議　題 ⑴　平成26年賀詞交歓会運営について ⑵　職員就業規則の一部改正（案）について ⑶　埼玉友好士業協議会主催「よろず相談会」相談員の選任について ⑷　宮田名誉会長の写真掲額について ⑸　規則39条の２調査関係について ⑹　その他 ①　次回総務部会開催日程について
平成25年10月25日㈮ 午後２時 第２回業務研究委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木研修部長、 伊藤委員、原田委員、酒巻委員、吉澤委員、 伊東委員、野口委員 議　題 ⑴　各研究テーマの中間発表について ⑵　新入会員研修会について ⑶　その他
平成25年10月25日㈮ 午後２時 会報「彩の国」160号 第１回編集会議 本会会議室	出席者：原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 小川委員、蓮見委員、遠藤委員、松本委員、花輪委員 議　題 ⑴　会報「彩の国」160号について ⑵　スリーデーマーチについて ⑶　公開講座 写真展について ⑷　会務通信の流れについて ⑸　よろず相談会について ⑹　その他
平成25年11月１日㈮ 午後２時 第３回支部長会議 本会会議室	出席者：（会長、副会長）佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長 （常任理事）武内総務部長、廣居財務部長、 古賀業務部長、青木研修部長、山口広報部長 （支部長）山谷（浦和）、鈴木（川口）、森田（志木）、 山﨑（大宮）、栁沼（上尾）、阿部（埼葛）、 田中（越谷）、杉本（岩槻）、松﨑（春日部）、 大久保（草加）、川口（川越）、坂本（所沢）、 肥沼（狭山）、天野（飯能）、島田（坂戸）、 梁瀬（熊谷）、髙橋（東松山）、鬼頭（秩父） 議　題 ⑴　平成25年度大規模災害対策基金の募金について ⑵　平成26年埼玉土地家屋調査士会会員交流会開催について ⑶　第36回日本スリーデーマーチへの参加について ⑷　公開講座開催について ⑸　CPD研修会開催について ⑹　職員雇用問題に関する第三者委員会について ⑺　市町村独自の基準点について

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	(8)　登記所備え付け街区基準点について (9)　外部広報のための腕章配布協力依頼について (10)　第９回特別研修会の受講生募集について (11)　「G空間EXPO2013」への参加募集について (12)　規則第39条の２調査について (13)　その他
平成25年11月８日(金) 午後３時 第２回CPD研修運営委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副委員長、青木研修部長、 新岡委員長、福島副委員長、樋口委員、吉原委員 議　題 (1)　11/13第１回CPD研修会運営について (2)　その他
平成25年11月12日(火) 午後２時 第４回業務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、鈴木次長、倉持理事 議　題 (1)　公開講座について (2)　将来的な組織体制について (3)　新人対象の組織として育成体制について (4)　その他
平成25年11月12日(火) 午後２時 第４回研修部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、髙柳次長、髙橋理事 議　題 (1)　２/３第２回会員業務研修会について (2)　３/５新入会員研修会について (3)　その他
平成25年11月14日(木) 午後２時 第８回常任理事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　次期総会までの会議日程について (2)　平成26年埼玉土地家屋調査士会会員交流会について (3)　災害家屋調査委員会設置規程の一部改正について (4)　総務省主管の行政相談会について (5)　さいたま市・川口市の官民境界確認業務について (6)　公開講座運営について (7)　会務執行体制・各部分掌の見直しについて (8)　新人対象の組織としての育成体制について (9)　第２回会員業務研修会について (10)　新入会員研修会について (11)　赤い羽共同募金について (12)　その他 ①　職員の賞与支給の件
平成25年11月19日(火) 午後２時 第３回災害家屋調査委員会 本会会議室	出席者：坂本委員長、山谷副委員長、鈴木委員、大久保委員、坂本委員 議　題 (1)　災害時の埼玉土地家屋調査士会初動対応マニュアル検討について (2)　その他

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
平成25年11月25日(月) 午後２時 第５回総務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、武内部長、佐野次長、 髙橋理事、井上理事 議　題 (1)　規則39条の２調査票の整理について (2)　平成26年賀詞交歓会次第及び案内状様式について (3)　災害家屋調査委員会設置規程の一部改正について (4)　その他 ①　次回総務部会開催日程について
平成25年12月３日(火) 午後３時 第２回資料センター室会同 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀部長、鈴木次長 熊谷室長、増田副室長、古川室員、小峰室員 議　題 (1)　前期研究課題の発表について (2)　その他
平成25年12月３日(火) 午後２時 第３回財務部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙柳副会長、廣居部長、倉林理事 議　題 (1)　各部の予算執行状況について (2)　来年度予算案について (3)　部長会議対応について (4)　スリーデーマーチの反省について (5)　その他
平成25年12月５日(木) 午後２時 第１回第三者検証委員会 本会会議室	出席者：小高雅夫委員、荘司八恵子委員、加藤東吾委員 、 佐藤会長、髙柳副会長、原副会長、中原副会長、武内総務部長 議　題 (1)　不祥事の原因究明と再発を防ぐための諸提言について (2)　その他
平成25年12月５日(木) 午後２時 第２回広報委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、原副会長、山口部長、木村次長、鹿倉理事、 亀井（川口）、井野（大宮）、木檜（上尾）、 小川（埼葛）、蓮見（越谷）、遠藤（春日部）、 小高（川越）、栁（所沢）、松本（熊谷）、 花輪（東松山） 議　題 (1)　メーリングリストについて (2)　平成26年度事業計画（案）の作成について (3)　会報「彩の国」第160号の編集について (4)　平成25年度の外部広報について (5)　会務執行体制・各部分掌の見直しについて (6)　その他
平成25年12月６日(金) 午後６時 第６回境界問題相談センター 埼玉運営委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、 白鳥委員、町田委員、野崎委員、 紫藤委員長、長坂副委員長、武内委員、江口委員 議　題 (1)　ADR11報告について (2)　弁護士会との協定書について

年月日・会議名・場所	会　議　内　容　等
	(3)　次年度運営について (4)　その他
平成25年12月13日(金) 午後０時30分 宮田精一氏黄綬褒章受章を祝う会第１回打合会 本会会議室	出席者：宮田名誉会長、佐藤会長、 髙栁副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長、 森田政治連盟会長、加藤公嘱協会理事長、 島田坂戸支部長 議　題 (1)　祝賀会運営について (2)　その他
平成25年12月13日(金) 午後２時 第９回常任理事会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、原副会長、中原副会長、 武内総務部長、廣居財務部長、古賀業務部長、 青木研修部長、山口広報部長 議　題 (1)　平成26年度事業方針（案）発表及び事業計画（案）の策定依頼について (2)　災害家屋調査委員会設置規程の一部改正（案）について (3)　会務執行体制・各部分掌の見直しについて (4)　第２回会員業務研修会について (5)　宮田名誉会長黄綬褒章受章祝賀会について (6)　年末・年始法務局挨拶参加者について (7)　その他 ①　次回常任理事会開催日程の件
平成25年12月16日(月) 午後２時 第２回オンライン登記申請促進委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、古賀業務部長、 髙橋委員長、山本委員、大金委員、大沼委員 議　題 (1)　オンライン登記申請研修会について (2)　その他
平成25年12月18日(水) 午後２時 第５回研修部会 本会会議室	出席者：佐藤会長、中原副会長、青木部長、髙栁次長、髙橋理事 議　題 (1)　２/３第２回会員業務研修会について (2)　平成26年度研修部事業計画について (3)　本会の組織改革の検討について (4)　その他
平成25年12月24日(火) 午後３時 紛議調停委員会 本会会議室	出席者：佐藤会長、髙栁副会長、武内総務部長、 第１部会　関永委員長、清水委員、上田委員 第２部会　齋藤副委員長、飛田委員、飯田委員 議　題 (1)　本年度取扱い事件についての意見交換について (2)　その他

会　員　の　動　静

〔平成25年９月１日現在作成の会員名簿からの訂正〕

入　会　者　　（平成26年１月８日現在）

支部	会員番号 登録番号	ADR認定 調査士番号	氏　名	〒	事　務　所　所　在	事務所電話 〃　FAX
P.54 埼葛	2200 2543		加　藤　洋　一	340-0114	幸手市東４丁目３番13号	0480(42)4159 (43)6590
P.60 越谷	2201 2544	803007	木　村　千　種	343-0845	越谷市南越谷一丁目７番13号	048(985)7055 (985)7066
P.22 浦和	2202 2545		棚　澤　顕　浩	338-0811	さいたま市桜区大字白鍬777番地４	048(677)2332 (677)2332
P.60 越谷	2203 2546		伊勢﨑　直　人	343-0806	越谷市宮本町１丁目70番地16	048(964)1600
P.60 越谷	2204 2547		山　田　　暁	343-0845	越谷市南越谷四丁目８番地９ ザ・ウィンベル新越谷410号	048(987)6412 (987)6377
P.22 浦和	2205 2548		古　川　　宏	336-0017	さいたま市南区南浦和二丁目42番５号 海田ビル２Ｆ	048(811)3325 (811)3326
P.35 志木	2206 2451		若　野　滋　男	354-0002	富士見市大字上南畑2049番地	049(251)2174 (254)1415
P.77 川越	2207 2549		山　腰　哲　矢	350-1142	川越市大字藤間1079番地１	090(4374)0089

退　会　者

支部	会員番号 登録番号	氏　名	〒	事　務　所　所　在	退会年月日
P.61 越谷	1978 2329	松　島　　隆	342-0054	吉川市吉川団地２番７号506	平成25.９.25 退会
P.40 大宮	2087 2433	萩　原　史　彦	331-0813	さいたま市北区植竹町１丁目719番地３	平成25.９.30 退会
P.21 浦和	2038 2387	田　中　　篤	336-0932	さいたま市緑区大字中尾2459番地24	平成25.10.15 退会
P.34 志木	675 1019	高　野　　茂	352-0031	新座市西堀二丁目７番35号	平成25.10.17 業務廃止

P.65 春日部	1362 1740	山岡忠夫	344-0065	春日部市谷原１丁目15番地９	平成25.10.29 業務廃止
P.43 上尾	1674 2034	飯野幹夫	362-0048	上尾市川一丁目27番地２	平成25.10.31 退会
P.83 狭山	2172 1162	薗田修	350-1306	狭山市富士見１丁目10番39号	平成25.12.4 死亡
P.18 浦和	1137 1502	田畑建雄	330-0064	さいたま市浦和区岸町６丁目１番24号	平成25.12.10 業務廃止
P.42 上尾	169 170	荒井安一	362-0035	上尾市仲町２丁目１番16号	平成25.12.27 業務廃止

事務所移転

支部	会員番号 登録番号	ADR認定 調査士番号	氏名	〒	事務所所在	事務所電話 〃 FAX
P.72 草加	1186 1557		妻島満	341-0044	三郷市戸ヶ崎２丁目141番地１	048(955)1137 (955)5222
P.41 大宮	2197 2540		山崎貴規	331-0804	さいたま市北区土呂町一丁目55番地15	048(783)3773 (783)3774
P.54 埼葛	2013 2363		関口孝二	348-0013	羽生市大字日野手新田52番地１	048(577)4158 (565)0740
P.83 狭山	1923 2276		黒澤朗	350-1304	狭山市狭山台１丁目４番地６ グリーンモア２Ｆ	04(2946)8495 (2946)8496
P.38 大宮	1858 2213	103050	池田勇人	331-0815	さいたま市北区大成町四丁目841番地 第261シティプラザ大宮A402号	048(666)5953 (666)5953
P.68 春日部	2116 2462		尾崎慶次	354-0054	春日部市浜川戸一丁目７番地11	048(884)9755 (761)9788
P.77 川越	1868 2223		稲吉貴資	356-0054	川越市大井武蔵野1358番地１	049(265)8626 (265)8627
P.72 草加	1518 1882		村松猛夫	340-0801	八潮市大字八條1187番地１	090(4054)7431

事務所移転（P.29川口支部からP.24浦和支部へ）

P.24 浦和	2052 2399		江口裕之	335-0003	蕨市南町３丁目５番２号　ハイツ島田201	048(446)9558 (611)7885

事務所移転（P.38大宮支部からP.31志木支部へ）

P.31 志木	1861 2216		栗原勤	351-0022	朝霞市東弁財一丁目７番33－101号	048(423)7172 (423)7173

氏名更正

P.17 浦和	577 898		神　山　　實	338-0812	さいたま市桜区大字神田215番地	048(853)1028 (852)2288

会変更登録（埼玉会退会）

支部	会員番号 登録番号	氏　名	〒	事務所所在	退会年月日 退会理由
P.21 浦和	2051 2398	山本英司	338-0832	さいたま市桜区西堀九丁目４番６号	平成25.11.20 東京会へ変更登録

ADR認定調査士（平成25年10月１日認定）

支部	会員番号 登録番号	ADR認定 調査士番号	氏　名	〒	事務所所在	事務所電話 〃　FAX
P.22 浦和	2191 2534	803003	外山　　健	336-0963	さいたま市緑区大門143番地	048(799)3553 (799)3166
P.54 埼葛	2155 2500	803004	小川哲也	340-0156	幸手市南３丁目18番４号	0480(42)5050 (48)5910
P.68 春日部	2162 2506	803006	濵田輝夫	345-0825	南埼玉郡宮代町字逆井225番地１	0480(48)6878 (48)6878
P.99 熊谷	2169 2513	803001	長沼　　健	367-0053	本庄市中央２丁目６番12号	0495(21)5303 (21)5058
P.104 秩父	2184 2527	803002	戸井田　　修	368-0025	秩父市桜木町12番31号	0494(22)0967 (24)0701

〈物故者〉　ご冥福をお祈り致します。

薗田　　修（74才）
平成25年12月 4 日没

編集後記

「彩の国」160号を新鮮の内に、出来る限り早く会員の皆様に届くよう広報委員一人ひとりが努力してくれました。広報部長としては頭が下がる思いです。特に今回の「彩の国」は広報の有り方をテーマにして取材を重ね記事にしています。

平成26年は午年、景気が上向き加減に推移しそうな雰囲気がある。しかし、何が起こるか分からない。きっと気を引き締めて掛からないとどんな方向に向かうか、全く予測がつかない世の中せめて、午年にちなんで、何事もうまく走ってくれることを願う一年である。

広報部長　山口　光男

会　報　第　160　号

発　行　日　平成26年１月

発　行　所　埼玉土地家屋調査士会
〒330-0063　さいたま市浦和区高砂４－14－１
TEL　(048)862－3173
FAX　(048)862－0916
http://www.saitama-chosashi.or.jp/
e-mail:office@saitama-chosashi.or.jp

発　行　人　佐　藤　忠　治

編集責任者　原　　正　興

広報部長　山　口　光　男

印　　刷　新日本法規出版株式会社　関東支社
〒337-8507　さいたま市見沼区南中野244－１
TEL　(048)687－3500
FAX　(048)687－3501

あなたのお車を 集団扱自動車保険にしませんか？

集団扱自動車保険なら

一般の口座振替分割払で契約するよりも 約5％※1も保険料が安くなります。

集団扱年一括払の場合も、集団扱以外のご契約の一時払保険料と比べて保険料が５％※2安くなります。

※1: 集団扱契約は、割増なしで分割払にできますので、一般の口座振替分割払の契約より約5%割安となります。
※2: 年一括5%割引が適用されます。

集団扱自動車保険のメリット

～メリット1～

保険料は口座振替！
ご契約時に現金は不要

～メリット3～

同居の家族が所有する車もOK！
ご家族全員でお得

～メリット2～

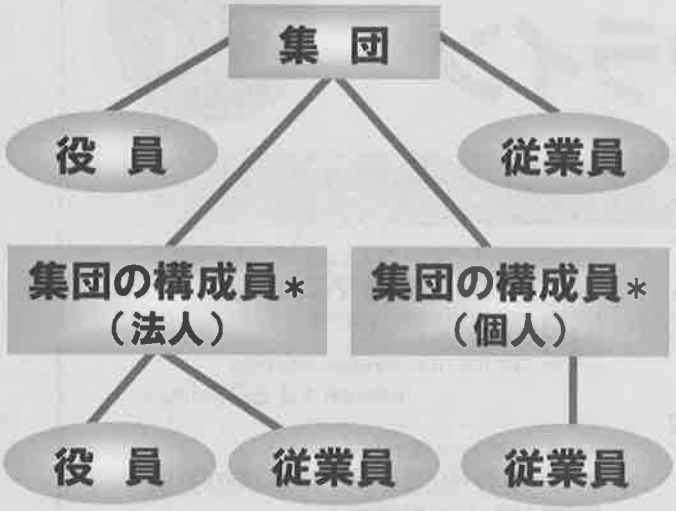
現在の無事故割引は継承！
JA共済・全労済等も継承OK

※一部等級が継承できない共済がございます。詳しくは取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

～メリット4～

専門スタッフが迅速・親切な対応！
24時間365日事故受付体制

ご契約いただける方（保険契約者）は…



＊集団の構成員とは、集団に所属する個人、企業、個人事業主を指します。

ご契約いただける方は、「集団」、「集団の役員・従業員」、「集団の構成員」、「集団の構成員の役員・従業員」です。ただし、引き続き雇用される期間が１年未満の方（アルバイト、臨時雇の方など）はご契約いただけません。

保険の対象となる方（被保険者等＊）は…

① 保険契約者ご本人または保険契約者の配偶者

② ①の方の同居の親族

③ ①の方の別居の扶養親族

④ 保険契約者の構成員またはその配偶者

⑤ ④の方の同居の親族

⑥ ④の方の別居の扶養親族

＊被保険者とは、「記名被保険者」および「ご契約のお車の所有者」を指します。

◇「記名被保険者」と「ご契約のお車の所有者」が上記の範囲内の方であれば、それぞれ異なっていても構いません。

集団扱にてご契約いただくには、「保険契約者」、「記名被保険者」および「ご契約のお車の所有者」が以下の方であることが条件となります。

保険契約者：①埼玉土地家屋調査士会
②埼玉土地家屋調査士会の役員・職員
③埼玉土地家屋調査士会の構成員（例：会員、組合員等）
④埼玉土地家屋調査士会の構成員（例：会員、組合員等）の役員・職員

記名被保険者：①保険契約者 ②保険契約者の配偶者
③「保険契約者またはその配偶者」の同居のご親族
④「保険契約者またはその配偶者」の別居の扶養親族
⑤保険契約者の構成員
⑥保険契約者の構成員の配偶者
⑦「保険契約者の構成員またはその配偶者」の同居のご親族
⑧「保険契約者の構成員またはその配偶者」の別居の扶養親族

ご契約のお車の所有者：①保険契約者
②保険契約者の配偶者
③「保険契約者またはその配偶者」の同居のご親族
④「保険契約者またはその配偶者」の別居の扶養親族
⑤保険契約者の構成員
⑥保険契約者の構成員の配偶者
⑦「保険契約者の構成員またはその配偶者」の同居のご親族
⑧「保険契約者の構成員またはその配偶者」の別居の扶養親族

※保険期間の中途で、「保険契約者」、「記名被保険者」および「ご契約のお車の所有者」のいずれかが上記の条件に合致しなくなった場合には、取扱代理店または引受保険会社にご連絡ください。

集団扱制度については、下記までお気軽にお問合せください

取扱代理店

MS保険企画株式会社　担当:山田

TEL: 048-652-4440　　FAX: 048-652-3993

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

●このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細は商品パンフレットをご覧ください。

c043-jd-201306-ayg13-hp-00　2011年5月作成/D

紙面の体裁を保ったままデータベース化！

新日本法規オンライン

好評発売中！

新日本法規オンラインの3大特長

1 検索効率が大幅に向上

フリーワード検索、法令からの検索、判例からの検索など様々な方法で記事が検索可能になったほか、書籍間の横断的な検索も可能です。

2 法令条文・判例などの詳細情報へリンク

法令・判例など記事の関連情報にリンクがあり、確認できます。

3 情報の自動アップデート

追録の発行による更新に合わせて自動的にアップデートされていきます。手作業による差し替え作業は必要ありません。

これらの特長によりお客様の業務効率向上を支援し、書籍保管スペースの有効活用を促進します。

★近時の法改正や実務の動きを踏まえた最新の内容！

Q&A 表示登記実務マニュアル

すいせん 日本土地家屋調査士会連合会
編集 表示登記制度実務研究会
〔代表〕西本 孔昭（日本土地家屋調査士会連合会顧問）

年間利用料 12,600円（税込）

★適切・迅速な紛争解決の実務指針！

事例式 境界・私道トラブル解決の手引

編集 境界・私道紛争事例研究会
〔代表〕山﨑 司平（弁護士）

年間利用料 10,080円（税込）

年間利用料（定額）でのご利用になりますので、追録発行時の費用は必要ありません。

新日本法規出版
0120-089-339 受付時間 8:30～17:00（土・日・祝日を除く）

ホームページ http://www.sn-hoki.co.jp
新日本法規 Web で 検索
E-mail eigyo@sn-hoki.co.jp

TOPCON

DS
Direct Aiming Station

軽量コンパクト自動視準DSシリーズ

・ラクラク自動視準
・1,000mノンプリズム測距
・トリガーキーを押すだけの迅速・簡単操作
・LongLinkデータコミュニケーション
・耐環境性能に優れた防塵・防水IP65

HiPer V
2周波GNSS受信機

Vanguard TechnologyTM搭載
GPS＋GLONASS対応
軽量で頑丈なマグネシウム筐体
Wi-Fiテザリングにも対応した完全
ケーブルレスRTK観測を実現
ボイスメッセージ機能搭載
SD/SDHCメモリカード対応

IS IMAGING STATION
CAPTURE REALITY
IS3

イメージングステーションIS3はトータルステーションに専用のデジタルカメラを内蔵。リアルタイムの視準画像を使用して直感的な操作と安心した作業を実現します。また簡易スキャナー機能も搭載し、必要な3Dデータを効率的にスキャニング出来る次世代型画像トータルステーションです。

WingNeo INFINITY

BLUETREND
【ブルートレンド エグザ】

株式会社 フォーワン
〒342-0001埼玉県吉川市上内川363-1
TEL 048-991-7868 FAX 048-991-9541

本社 〒362-0021埼玉県上尾市原市1240-6
TEL 048-723-2281 FAX 048-722-3773

SOKKIA

DX Series

NEW

Direct Aiming X-ellence

軽量、コンパクトで機動性に優れた自動視準TS
MDTSはさらに身近な存在へ

SX Series

Superior X-ellence Station

自動追尾、自動視準、ノンプリズム搭載
トータルステーション

「究極のリモートコントロールが更なる進化を遂げた」　測量作業の効率化を加速します。

GNSS （GPS＋GLONASS） Receiver

GRX2

NEW

極めて軽量コンパクトなボディーで、かつてない軽快さを実現。シンプルなGPS受信機から、小エリア無線内臓のGNSS受信機まで５種類のラインアップ。あなたにとって、最適な１台をお選びください。

Survey Instrument & OA System
SAITAMA SOKKI SHA 株式会社 埼玉測機社

＊本社＊〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-9-39
TEL 048-861-2111 FAX 048-861-2110

＊熊谷営業所＊〒360-0012 熊谷市上之340-5
TEL 048-522-3131 FAX 048-521-2341

【特別価格・送料無料】実務参考図書のご案内

「基礎知識が身に付く」50問のQ&A

Q&A 筆界特定のための公図・旧土地台帳の知識

大唐正秀 著　2013年5月刊 B5判 224頁 定価2,520円➡特価2,270円

- 登記官及び土地家屋調査士向け研修会の講義記録をもとに「現場の生の質問」をピックアップ。
- 筆界特定の原因類型及び特定要素について詳細に分析・整理。
- 巻末資料には、土地台帳・公図の沿革表を収録。

正しい地図の作成に欠かせない「唯一の」実務解説書

3訂版 表示登記にかかる各種図面・地図の作成と訂正の事例集

河瀬敏雄・筒井英行 著　2013年4月刊 A5判 272頁 定価2,730円➡特価2,460円

- 「長年にわたり表示登記実務の指導的役割を果たしてきた」著者が執筆。
- 「著者自身の執務用資料」並びに「職員研修用の配布資料」をベースとした内容。
- 各種図面・地図の概要、不整合が生じた際の処理方法、具体的な訂正方法から申出書の記載方法までを、「114事例」で詳説。

【日本土地家屋調査士会連合会 会長推薦】利用する際の疑問点、留意点等をまとめたQ&A集

Q&A 表示登記オンライン申請の実務

表示登記オンライン申請実務研究会 編著　2011年11月刊 A5判 400頁 定価3,570円➡特価3,210円

- 画像を参照しながらわかりやすく解説。
- Q&Aに加え、申請用総合ソフトの便利な利用方法等を収録。

「416問のQ&A」で必要知識を網羅

Q&A 農地・森林に関する法律と実務 登記・届出・許可・転用

末光祐一 著　2013年5月刊 A5判 616頁 定価5,880円➡特価5,290円

- 知識研鑽に有益となる「実践的な設問」をまとめた一冊。
- 先例・判例を多数収録。申請書・契約書のひな形も収録。
- 農地法、森林法のみならず関連する都市計画法、道路法、建築基準法等についても解説。

「申請人及び関係人の主張及びその根拠→筆界の検討→結論」の流れを紹介した事例集

筆界特定事例集

東京法務局不動産登記部門地図整備・筆界特定室 編著　2010年11月刊 B5判 284頁 定価2,940円➡特価2,650円

- 筆界特定における主要な資料とその評価等についてまとめた総論と24の筆界特定事例を収録。
- 土地台帳、登記簿、地図、地積測量図等の資料を的確に読み解く過程を解説。

【日本土地家屋調査士連合会 会長推薦】正確な添付情報作成のための解説書

表示登記添付情報作成の実務 地積測量図・調査報告情報

國吉正和 監修　内野篤 著　2011年11月刊 B5判 264頁 定価2,940円➡特価2,650円

- 業務の流れに沿って解説。
- 具体的な測量図面や調査報告書、記載例を多数収録。

FAX注文書

FAX 03-3953-2061

（価格は5%の消費税込で表示しております。）

特典コード 202846

FAXの送信間違いには、十分ご注意ください。※商品のお届け方法は郵送となります。

書名		特価	部数	書名		特価	部数
Q&A 筆界特定のための公図・旧土地台帳の知識	40506 公図	2,270円	冊	Q&A 農地・森林に関する法律と実務	40509 農地森林	5,290円	冊
3訂版 表示登記にかかる各種図面・地図の作成と訂正の事例集	40102 表各	2,460円	冊	筆界特定事例集	40415 筆例集	2,650円	冊
Q&A 表示登記オンライン申請の実務	40443 表オン	3,210円	冊	表示登記添付情報作成の実務	40441 添付情報	2,650円	冊

フリガナ お名前	
ご住所	〒 E-mail:
	TEL: FAX:

※ご記入いただいた個人情報は、ご注文いただいた商品の発送、お支払い確認などの連絡および弊社からの各種ご案内（刊行物のDM・アンケート調査など）以外の目的には利用いたしません。

日本加除出版
〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号
営業部 TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 http://www.kajo.co.jp/
営業時間：月～金（祝日は除く）9：00～17：00